

Sir Christopher Michael Wren PRS (20 October 1632 – 25 February 1723) is one of the most highly acclaimed English architects in history.[1] He was accorded responsibility for rebuilding 52 churches in the City of London after the Great Fire in 1666, including his masterpiece, St. Paul's Cathedral, on Ludgate Hill, completed in 1710.

サー・クリストファー・レン（Sir Christopher Wren, 2月25日）はイギリスの建築家、天文学者。イギリス王室の建築家であり、ロンドン大火からの復興を行い、バロック建築をイギリスに取り入れた人物、として知られている。

このほか、ハンプトン・コート、グリニッジなどの宮殿を建設。ハンプトン・コートでの大がかりかつ入念な増築と改築のうちでは、現在後者の断片しか残っていない。またこれはアシスタントであったウィリアム・トールマンによって修正され変更されているともいわれている。実際彼の設計であるというものは希望的観測にもとづいて与えられたものが多いとされ、確実に彼によるものとされる都市住宅やカントリー・ハウスはない。ホクスムアは注目し値する唯一の彼の弟子であるが、彼が建設局を支配していた間に与えた影響は広く深い。